



虐待を「知って」「考えて」ください

北海道室蘭児童相談所長

みずがみ かずとし
水上 和俊さん

児童相談所に寄せられる相談の中には、親族や近隣から支援を受けられず、精神的に余裕のない保護者の方が多くみられます。児童虐待相談が増えているのは、こうした孤立した子育て世帯が増えてきたことが原因のひとつとして考えられます。また、ネグレクト（育児放棄）の相談が急増している背景には、「どういった行為が虐待にあたるのか」という認識の広がりがあるとあります。

児童虐待は皆さんの身近なところで起こっています。未然に防ぐには、保護者だけでなく地域のすべての人が、虐待という問題を「知って」、それについて「考える」ことが大切です。

苫小牧地区においても、各機関が連携して、相談窓口や支援体制を用意しています。少しでも気になることや不安なことがあれば、関係機関に相談してください。

地域の皆さんへ

児童虐待の裏側で

このように児童虐待の相談件数が増えてきた背景には、法律の施行やニュースで目にする悲惨な事件によって、社会全体に児童虐待への問題意識が浸透してきていることがあります。しかし一方で、時代とともに地域の絆や繋がりが弱まったことにより、虐待に至る前に問題を発見・解決する「地域の支え合い」の機能が失われつつあるとも言われています。

人と人の繋がりを大切に

児童虐待は家庭という外から見えない

にくい場所で起こり、被害者である子どもが自ら助けを求めることも難しいため、発見が難しい問題です。だからこそ親族や友人、地域の人がちが小さなサインに気づくことが、早い時期に子育ての問題を抱える家庭を支援したり、虐待の深刻化を防ぎ、子どもを安全に保護することに繋がります。児童虐待はあなたのすぐそばで起こっています。地域で声を掛け合う、相談に乗る、そんな地域の繋がりが、虐待を未然に防ぐ大きな力になります。子どもたちを守るには、地域の皆さん一人ひとりの「絆」です。

こんなことありませんか？

地域でこんな光景を見かけませんか？虐待が疑われる場合は連絡を！

切取り線

気付いてください 虐待のサイン

相談は匿名で行うこともでき、相談者の情報が明かされることはありません。あなたの少しの勇気が、子どもたちの未来を守ります。

子どもの状況

- 不自然な傷やあざ、やけどのあとがある
- 表情が乏しく、笑顔が少ない
- 大人に対しておびえたり、逆に人懐っこい
- 極端にやせている。食べ物への執着が強い
- 衣服や身体がいつも汚れ、不衛生な臭いがする
- 家に帰りがたらない。不自然な時間に外にいる
- 行動に落ち着きがない。乱暴な言動が多い

保護者・家庭の状況

- 子どもの健康や安全への配慮が足りない
- 家の中が散らかっており、不衛生である
- 子どもを家に置いたまま、頻繁に出かけている
- 地域との交流がなく、孤立している
- いつもいらいらし、子どもに当たる

児童虐待相談・通報先

苫小牧市役所(子育て支援課) ☎32-6111
北海道室蘭児童相談所 ☎0143-44-4152
苫小牧警察署 ☎35-0110



虐待から子どもを守るために

Special Edition
特集

詳細 子育て支援課 ☎32-6369

「児童虐待」に関する通報・相談件数が全国的に増加しています。こうした状況から子どもの健やかな成長や尊い命を守るために、苫小牧市では各機関と連携して、様々な取り組みを行っています。今回の特集では、市民一人ひとりが今できる事を考えるために、改めて「児童虐待」についてお知らせします

児童虐待とは

平成12年に制定された「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）では、大きく分類して、保護者による以下の4つの行為を虐待と定めています。

身体的虐待
殴る、蹴る、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、冬期に戸外に締め出すなど

性的虐待
性的行為を強要する、性器や性交を見せる、児童ポルノの被写体にするなど

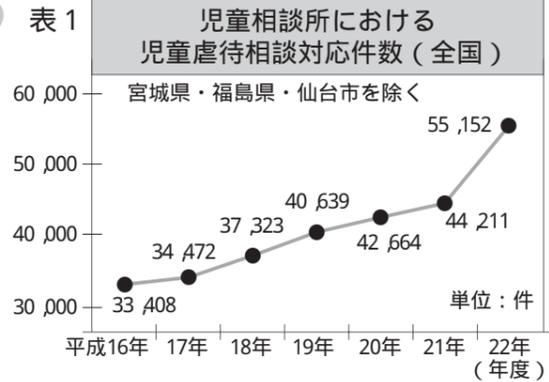
ネグレクト（育児放棄）
学校に行かせない、適切な食事を与えない、風呂に入れない、重い病気になっても治療させない、長時間子どもだけで放置するなど

心理的虐待
言葉で脅す、無視する、他のきょうだいと極端に差別する、子どもの目の前で暴力を振るう（DV）など

同法では、「何人も、児童に対し、虐待をしてはならない」と、児童虐待の禁止を明記しています。保護者が「しつけ」と考えていることでも、子どもの人権を著しく侵害する行為は「虐待」にあたります。

児童虐待相談の増加

全国の児童相談所に寄せられた児童虐待の相談は、平成22年度で5万5千152件でした（表1）。統計を取り始めた平成2年の1千101件から実に50倍以上に増えています。



苫小牧市の現状

少子化が進んでいるにもかかわらず、室蘭児童相談所や苫小牧市の取り扱う虐待相談件数も年々増え続けています。

苫小牧市が平成22年度に受けた相談の内訳は、表2のとおり半分以上が「ネグレクト」、次いで「身体的虐待」が多くなっています。特にネグレクトの通報はここ数年で急増し

苫小牧市子育て支援課で受理した児童虐待相談・通報の内容および主な虐待者（平成22年度）

表2 虐待の内容

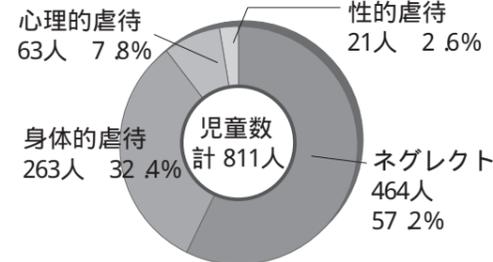
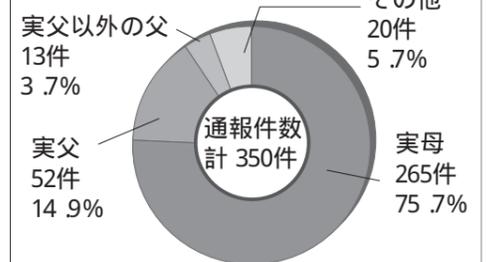


表3 主な虐待者



ています。また、主な虐待者は、表3のとおり、「実母」が4分の3を占めており、「実父」と合わせて、約9割が実の父母による虐待であることがわかります。